

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【公開番号】特開 2009-248673 (P2009-248673A)
 【公開日】平成 21 年 10 月 29 日 (2009.10.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-043
 【出願番号】特願 2008-97117 (P2008-97117)
 【国際特許分類】

B 6 0 T 13/74 (2006.01)

B 6 0 T 8/1761 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 13/74 Z

B 6 0 T 8/1761

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 3 月 29 日 (2011.3.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ブレーキペダルの操作により進退移動する入力部材に相対変位可能に設けられたアシスト部材と、前記アシスト部材に対して前記入力部材を両者の相対変位の中立位置に向けて付勢する付勢手段と、前記アシスト部材の移動によりマスタシリンダ内を加圧する倍力装置と、

所定の入力信号に応じて前記アシスト部材を駆動するアクチュエータをコントロールするコントロールユニットと、

マスタシリンダとホイールシリンダとの間に設けられた液圧制御ユニットと、

マスタシリンダ圧を検出するマスタシリンダ圧センサと、を備え、

前記コントロールユニットは、前記液圧制御ユニットの作動時には前記マスタシリンダ圧に基づいて前記アシスト部材の移動量を、前記液圧制御ユニットの作動開始時の前記マスタシリンダ圧にオフセット値を加算した値を目標値として記憶し、該記憶された目標値と前記マスタシリンダ圧とが一致するように制御することを特徴とするブレーキ倍力装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のブレーキ倍力装置において、

前記コントロールユニットは、制御中の前記ブレーキペダルの操作の変化に応じて前記目標値を補正することを特徴とするブレーキ倍力装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明では、液圧制御ユニットの作動時にはマスタシリンダ圧に基づいてアシスト部材の移動量を、液圧制御ユニットの作動開始時のマスタシリンダ圧にオフセット値を加算した値を目標値として記憶し、該記憶された目標値とマスタシリ

シリンダ圧とが一致するように制御することとした。よって、脈圧やペダル振動を抑えて良好なペダルフィーリングを得ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

〔ホイルシリンダ圧制御機構〕

以下、ホイルシリンダ圧制御機構 3 の油圧回路構成を説明する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

〔倍力制御処理〕

次に、マスタシリンダ圧制御機構 5 とマスタシリンダ圧制御装置 8 による、インพุットロッド 6 の推力の増幅作用について説明する。